

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 7週

集計期間 2/10-16

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-	
RS感染症	1	2	2											5	
咽頭結膜熱			1							1	1			3	
溶連菌感染症				1		1	2		1	1				6	
感染性胃腸炎		3	4	5	8	18	8	6	3	12	8	14		89	
水痘					2									2	
手足口病															
伝染性紅斑															
突発性発疹		2	1	2										5	
百日咳															
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎															
麻疹															
風疹															
マイコプラズマ															
髄膜炎															
MCLS															
小児科Flu	1		10	15	9	19	14	27	13	10	14	49	2	1	184
小児科定点総数 294 増減 -75 前週比 79.7% 定点当たり 49 病院:開業医 7:287 増減 -8:-67															
内科Flu				1		1					2		4	30	38
インフルエンザ総数 222 増減 -98 前週比 69.4% 定点当たり 24.7 小児科:内科 184:30 増減 -91:-7															

総数294、前週の79.7%と、大幅に減少です。

首位は、インフルエンザ、前週比67%、定点当たり30.6と2/3です。

2位は、感染性胃腸炎、前週比104%、定点当たり14.8と、不変です。

3位は、溶連菌感染症、前週比120%、定点当たり1と、やや増加です。

以下は、インフルエンザに抑圧されて、全て、定点当たり1未満で少数です。

RSウイルス感染症5名、咽頭結膜熱3名が目立ちます。

内科も含むインフルエンザ、前週比69.4%で大幅減少、9定点中、9定点から報告です。

小児科定点は、A型111、B型47、型報告無26で、A型が70%と前週とほぼ同じ比率。

内科定点では、A型25、B型13で、A型が65%とB型が増えて来ました。

本当に減る時は半減なのですが、2/3と減りが甘く、また、実診療日数も一日少なく、

内科で、B型の比率が上がって来ていますので、B型の再燃がないか、

まだ、このまま終息へとは、考えにくい気がします。